肺切除術を受ける方へ

2026年10月現在

日　時	入院日（手術前日） /	手術当日　/ 手術前	 手術後
治療･処置	・手術部位周辺の毛を短くします。 ・手術側の手の甲に×印を付けます。	体重測定 	・酸素吸入、心電図モニター、足に血栓予防のための機械を装着します。 ・創部、背中、尿道に管が入ってきます。
薬剤〔点滴/注射〕	・入院中は医師の指示のもと内服して頂きますので、普段飲んでいる薬やサプリメント等がありましたらお申し出ください。 ・就寝前に下剤と安定剤を内服します。	・点滴を開始します。（午前予定の場合は手術室で、午後予定の場合は病室で行います。） ・医師より指示のあった薬は朝7時に少量の水でお飲みください。	血栓予防の点滴、抗生剤の点滴をします。
検査	採血、レントゲン、心電図		
食事	21時以降は禁食（飲水は可能）	・午前0時以降は禁飲食（飲水もできません。） ・午前7時までにアルジネートウォーターのみお飲みください。	禁飲食
清潔	シャワー浴、洗髪	洗面、髭剃り（クリームや化粧水は付けないでください。）	
排泄･安静度・リハビリ	院内であれば制限はありません。	手術前に弾性ストッキングを履き、手術着に着替えてトイレを済ませておいてください。	・ベッド上安静。（寝返りは可能です。看護師にお申し出ください。） ・排泄はベッド上で行います。
説明・指導	・病室で入院生活と手術のオリエンテーションをします。 ・同意書は看護師にお渡しください。 ・必要物品：同意書、お薬手帳、普段飲んでいる薬、T字帯1枚、洗面道具、コップ、ストロー、着替え、履物 ・マニキュアは事前に落とし、手足の爪を切っておいてください。	・予め時計やネックレス、指輪などの貴金属類、眼鏡、コンタクトレンズ、入れ歯は外しておいてください。 ・ご家族は手術中、手術室の待合室または病棟の談話室でお待ちください。手術後、医師より説明があります。 	・身体を動かす際は、背中、創部、尿道に入っている管が引っ張られないように注意してください。 ・背中の管と内服で痛み止めを使用していますが、痛みが強い場合は看護師にお申し出ください。
目標	手術前後の流れについて理解することができる。	円滑に手術前準備を行うことができる。	状況を理解し、安全に過ごすことができる。

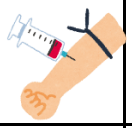
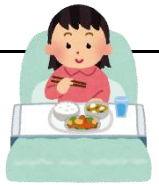
＊状態によって変わることがあります。

【説明看護師】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都港区三田1-4-17　東京都済生会中央病院　TEL (03) 3451 8211

肺切除術を受ける方へ

2026年10月現在

日時	手術後1日目	手術後２～5日目	手術後6日目～退院日（手術12日目）
	/	/ ～ /	/ ～ /
治療･処置	酸素吸入、心電図モニター、血栓予防の機械を外します。	医師が背中と創部の管を抜きます。	手術7日目：創部の管を抜きます。
薬剤〔点滴/注射〕	・食事が摂れれば点滴は終了となります。 ・普段飲んでいる薬は、再開の指示があってから飲んでください。		
検査	採血、レントゲン 	毎日レントゲン	・手術後7日目、8日目：採血、レントゲン ・手術後8日目：レントゲン
食事	医師の指示で飲水や食事が開始となります。	 病院食が出ます。	
清潔	看護師が体を拭きます。	背中と創部の管が抜け、医師の許可が出ればシャワー浴が可能 	
排泄･安静度・リハビリ	・座位になった後、歩行をします。 ・初回歩行の際は看護師が必ず付き添います。 ・歩行ができたら尿道の管を抜きます。 ・尿道の管が抜けたらトイレで蓄尿をしてください。	・院内であれば制限はありません。 ・肺炎や血栓予防のために歩行を心掛けてください。 ・退院に向けて自宅の生活に近づけるように努めてください。	
説明・指導	・体の動かし方、痰の出し方、呼吸法について説明し、介助します。 ・身体を動かす際は、背中、創部、尿道に入っている管が引っ張られないように注意してください。 ・背中の管と内服で痛み止めを使用していますが、痛みが強い場合は看護師にお申し出ください。	痛みが強い場合は看護師にお申し出ください。 	・退院の際は退院療養計画書と次回外来予約票をお受け取りください。 ・退院後の生活については別紙をご参照ください。 ・退院処方がある場合は、薬剤師より薬の説明をします。 
目標	・呼吸や痛みをコントロールすることができる。 ・管に配慮しながら離床することができる。		退院後の生活をイメージすることができる。

＊状態によって変わることがあります。

【説明看護師】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東京都港区三田1-4-17　東京都済生会中央病院　TEL (03) 3451 8211